

三陸沿岸道路（山田宮古道路）
”中学生による見学会”
宮古市立津軽石中学校（3年生）の生徒が
津軽石トンネル工事を見学します！

震災復興のリーディングプロジェクトとして事業を進めている三陸沿岸道路「山田宮古道路」（岩手県下閉伊郡山田町山田～宮古市金浜 延長14km）は、平成29年度の開通を目指して事業を進めているところです。

このたび、宮古市立津軽石中学校（3年生）の生徒による工事現場見学会を下記の日程にて開催することになりましたので、お知らせいたします。

1. 日 時：平成28年12月16日（金） 10：00～11：30
2. 見学場所：三陸沿岸道路（山田宮古道路）(仮称)津軽石トンネル 延長484m
宮古市津軽石地内 …別紙-1を参照
3. 見学会概要：1. 工事概要説明
2. トンネル内工事見学
3. コンクリート試験実体験
4. 記念石を作成（トンネル完了後埋蔵）
4. その他：現場入場する際に必要となるヘルメットは、こちらで用意いたします。
当日取材を希望される方は、事前にご連絡をお願いします。

《発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ》

問 い 合 わ せ 先

【見学会に関すること】

国道45号 津軽石道路工事

(株)奥村組

たかなぎ
高柳 つよし
剛

電話 0193-77-4197 (代表)

【事業に関すること】

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

電話 0193-62-1711 (代表)

副 所 長

ひらおか
平岡 ひろし
弘志

建設 監督官

みかみ やすみつ
三上 泰光

(仮称) 津軽石トンネル工事現場見学会案内図

位置図



詳細図

見学場所：(仮称) 津軽石トンネル

見学場所：(仮称) 津軽石トンネル



ダンプ走行中につき十分ご注意ください!

・開催日時：12月16日 (金)
10:00~11:30

・見学場所：三陸沿岸道路 (山田宮古道路)
(仮称) 津軽石トンネル

三陸沿岸道路 山田宮古道路の概要

三陸沿岸道路 山田宮古道路 延長 14 km

路線概要

三陸沿岸道路「山田宮古道路(山田～宮古南)」は、山田町山田から宮古市金浜を結ぶ約14kmの自動車専用道路です。現道の線形不良区間、津波浸水区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により主要港湾(釜石港)へのアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

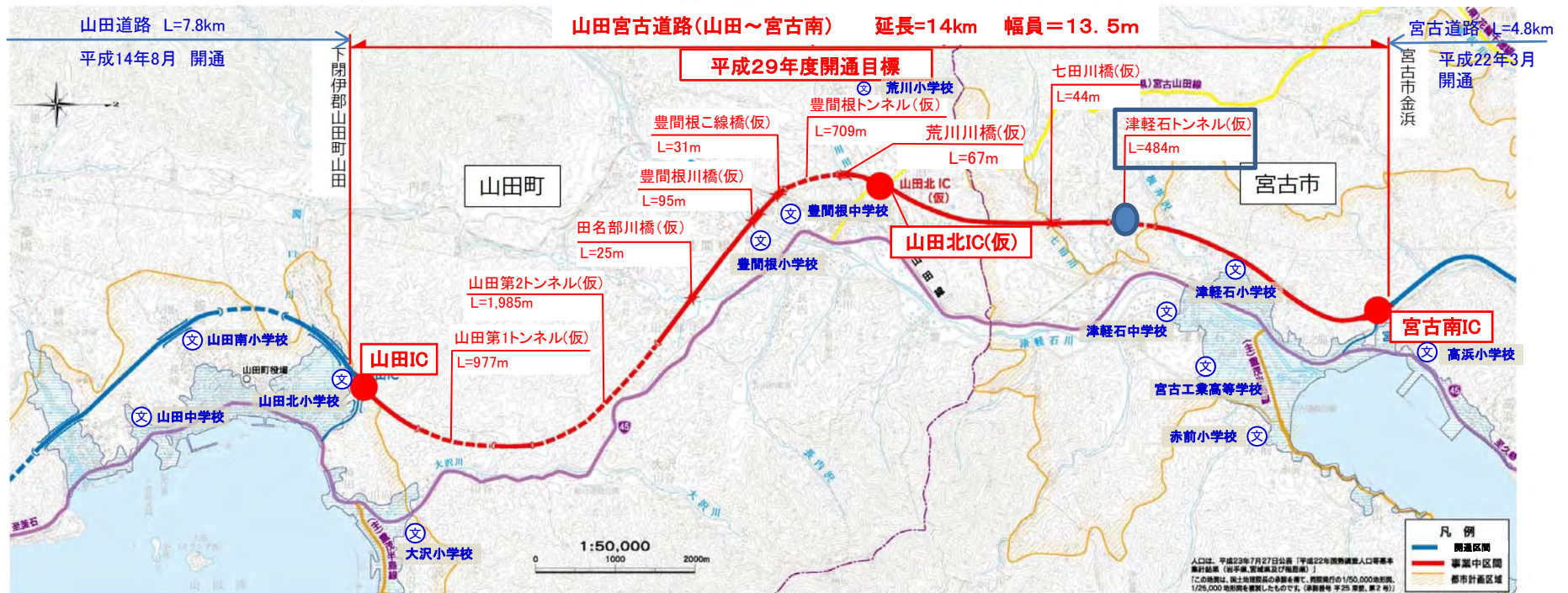
平成28年度は、用地買収を完了し、改良工事、トンネル工事、橋梁工事を実施中で、平成29年度の開通を目指します。

計画諸元

山田宮古道路 (山田～宮古南)	
起 点	下閉伊郡山田町山田
終 点	宮古市金浜
延 長	14km
幅 員	2車線 13.5m
構造規格	第1種第3級
設計速度	80km/h



津軽石弘川から宮古市側を望む



凡例
 開通区間
 事業中区間
 都市計画区域

人口は、平成23年7月27日公表「平成22年国勢調査人口等集計結果(世帯数、世帯員数及び総人口)」
 (2)の路線は、国土交通省の公表を受けて、開通区間の1/50,000地形図、1/25,000地形図も参照したものです。(注釈番号 平25-第2号)

メリット① 津波浸水区域を回避し、緊急輸送道路の信頼性を確保

- 東日本大震災では、津波被害により国道45号等の幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 山田宮古道路は、大規模災害時でも寸断されない強靱で信頼性の高い道路ネットワークを形成

▼山田町～宮古市間経路



▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市津軽石地区



写真② 山田町大沢地区



メリット② 迅速で安定した救急搬送で、安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古保健医療圏(宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町)の第二次救急医療施設は県立宮古病院のみだが、国道45号には急カーブ等が多く、救急搬送時に大きな課題
- 山田宮古道路の整備により、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全安心な住民生活に寄与

▼ 現道の隘路状況



**線形不良箇所
(7ヶ所)**



山田～宮古区間の国道45号

山田宮古道路

急カーブ箇所
(R < 150m)
10箇所

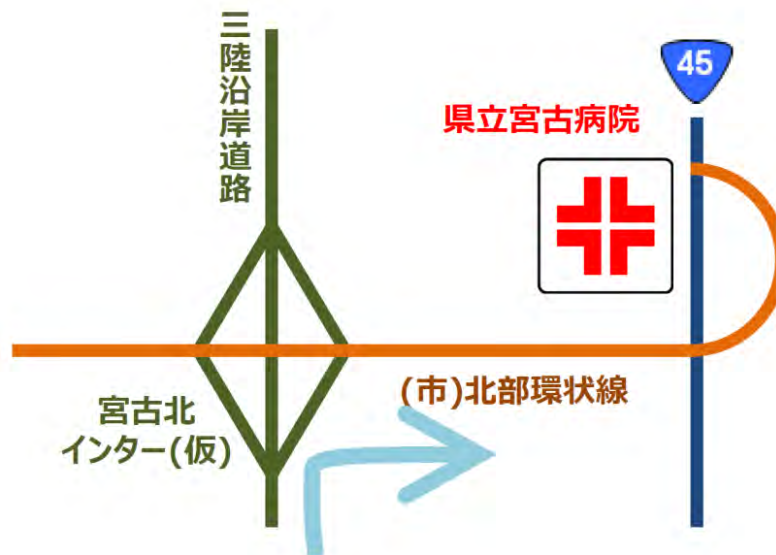


急勾配箇所
(i > 5%)
1,840m



急カーブ箇所 (R < 150m)
急勾配箇所 (i > 5%)
0箇所

▼ 宮古病院へのアクセスルート



山田町から県立宮古病院への搬送時間
現在 約40分 ⇒ 将来 約20分

フェリー就航で北海道と東北等の物流・人流が活性化

復興道路・復興支援道路の整備がフェリー航路開設につながる

◎宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)。

◎宮古港、三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。

【航路概要】(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

●開設時期 平成30年6月(予定)

●運行計画 1日1往復、毎日運行

●選定理由

- ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
- ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
- ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
- ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい

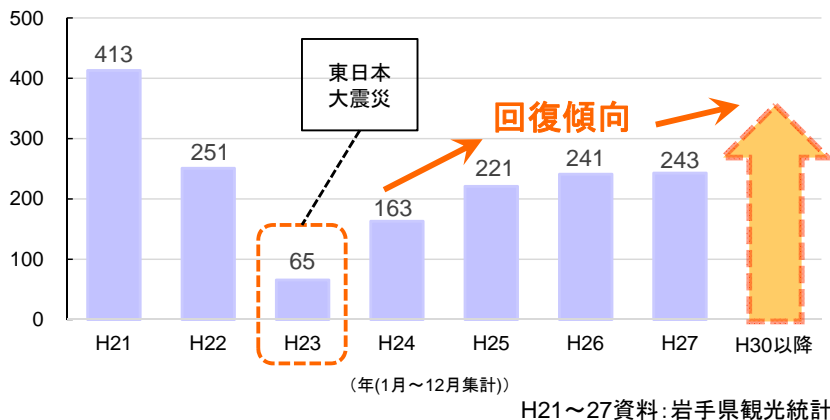
フェリー航路図(予定)



観光入込客数の推移と期待

(万人) (※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)

フェリー等による
観光客増の期待



←平成27年11月15日
宮古港でフェリー乗船会が開催され、
カーフェリー『シルバークイーン』が寄港